

【Ⅱ 調査結果の概要】

1 概況（従業者4人以上）

平成19年の概況は次のとおりである。

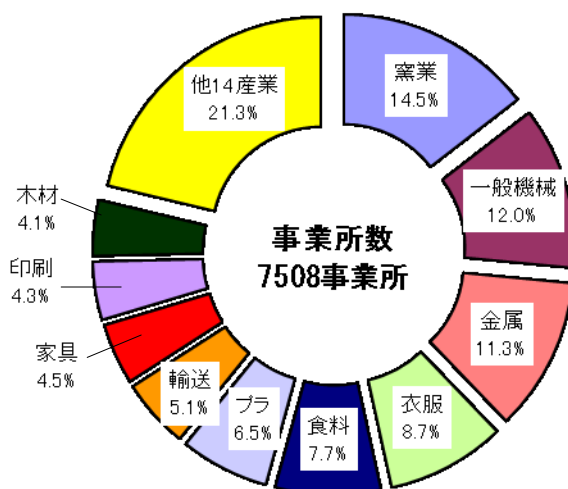
- ◎ 事業所数は、7508事業所で、前年に比べ35事業所（前年比△0.5%）減少した。
- ◎ 従業者数は、21万6652人で、前年に比べ1万2103人（同5.9%）増加した。
- ◎ 製造品出荷額等は、5兆8786億円で、前年に比べ3506億円（同6.3%）増加した。
- ◎ 付加価値額は、2兆1040億円で、前年に比べ450億円（同2.2%）増加した。

2 事業所数（従業者4人以上）

- ① 事業所数は7508事業所で、前年に比べ減少している。（表-1）
- ② 産業別にみると、増加した産業は、一般機械器具製造業、輸送用機械器具製造業などである。一方、減少した産業は、窯業・土石製品製造業、繊維工業などである。（表-2）
- ③ 従業者規模別にみると、4～9人事業所で大きく減少している。（表-3）
- ④ 圏域別にみると、東濃圏域で大きく減少している。

岐阜圏域では、一般機械器具製造業などで増加、繊維工業、衣服・その他の繊維製品製造業などで減少、西濃圏域では、金属製品製造業などで増加、一般機械器具製造業などで減少、中濃圏域では、衣服・その他の繊維製品製造業、プラスチック製品製造業などで増加、金属製品製造業などで減少、東濃圏域では、輸送用機械器具製造業などで増加、窯業・土石製品製造業などで減少、飛騨圏域では、家具・装備品製造業などで減少となった。（表-4）
- ⑤ 構成をみると、窯業・土石製品製造業が1090事業所（構成比14.5%）と最も多く、次いで、一般機械器具製造業が900事業所（同12.0%）、金属製品製造業が850事業所（同11.3%）となっている。

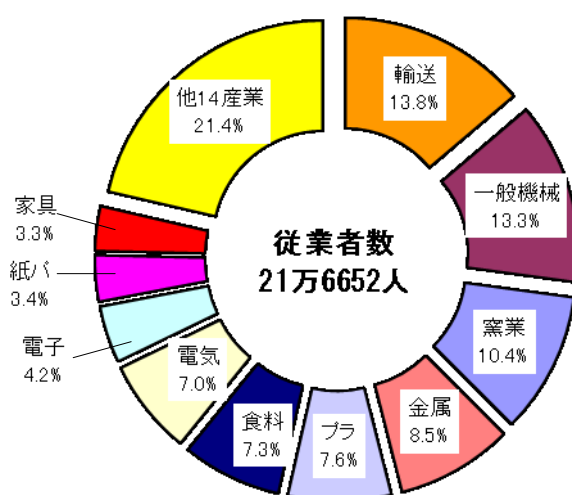
図-1 事業所数の構成（従業者4人以上）



3 従業者数（従業者4人以上）

- ① 従業者数は、21万6652人となった。（表-1）
- ② 産業別にみると、増加した産業は、一般機械器具製造業、輸送用機械器具製造業、電気機械器具製造業などである。一方、減少した産業は、家具・装備品製造業、衣服・その他の繊維製品製造業、窯業・土石製品製造業などである。（表-2）
- ③ 従業者規模別にみると、500～999人事業所で大きく増加している。一方、4～9人事業所では、大きく減少している。（表-3）
- ④ 圏域別にみると、西濃圏域と中濃圏域で大きく増加している。
岐阜圏域では、輸送用機械器具製造業などで増加、衣服・その他の繊維製品製造業などで減少、西濃圏域では、電子部品・デバイス製造業、輸送用機械器具製造業などで増加、中濃圏域では、一般機械器具製造業、電気機械器具製造業などで増加、東濃圏域では、電気機械器具製造業などで増加、飛騨圏域では、非鉄金属製造業などで増加となった。（表-4）
- ⑤ 構成をみると、輸送用機械器具製造業が2万9935人（構成比13.8%）と最も多く、次いで一般機械器具製造業が2万8844人（同13.3%）、窯業・土石製品製造業が2万2431人（同10.4%）となっている。

図-2 従業者数の構成（従業者4人以上）



4 製造品出荷額等（従業者4人以上）

① 製造品出荷額等は5兆8786億円となった。（表-1）

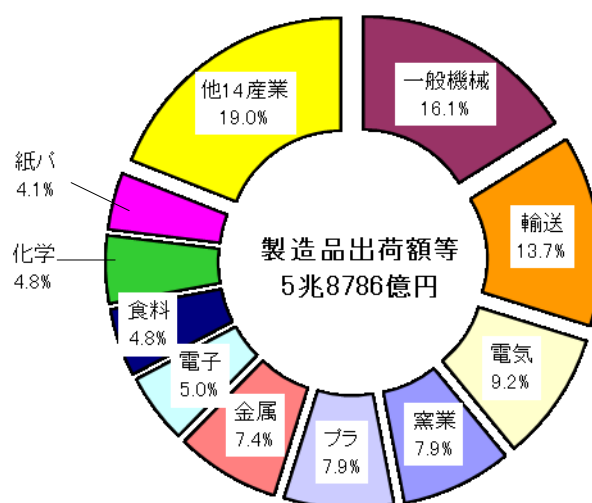
② 産業別にみると、一般機械器具製造業、電気機械器具製造業、窯業・土石製品製造業などで増加している。（表-2）

③ 圏域別にみると、岐阜圏域以外の圏域で増加している。

岐阜圏域ではプラスチック製品製造業、一般機械器具製造業などで増加、輸送用機械器具製造業、化学工業などで減少、西濃圏域では、電気機械器具製造業、窯業・土石製品製造業などで増加、中濃圏域では、一般機械器具製造業、鉄鋼業などで増加、情報通信機械器具製造業などで減少、東濃圏域では、電気機械器具製造業などで増加、飛騨圏域では、非鉄金属製造業などで増加となった。（表-4）

④ 構成をみると、一般機械器具製造業が9486億円（構成比16.1%）と最も多く、次いで、輸送用機械器具製造業が8039億円（同13.7%）、電気機械器具製造業が5437億円（同9.2%）となっている。

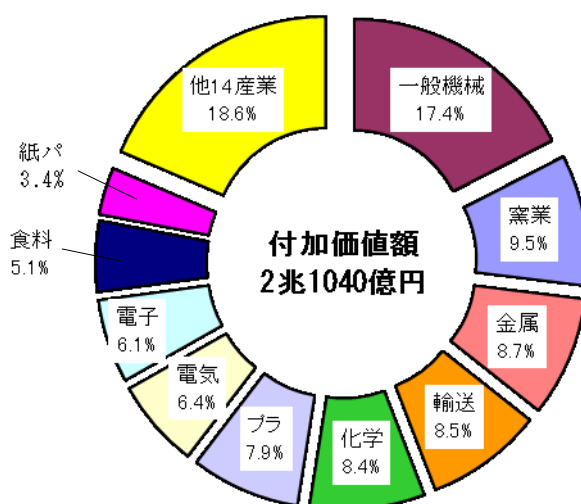
図-3 製造品出荷額等の構成（従業者4人以上）



5 付加価値額（従業者4人以上）

- ① 付加価値額（粗付加価値額での集計を含む）は、2兆1040億円となった。（表－1）
- ② 産業別にみると、増加した産業は、電気機械器具製造業、一般機械器具製造業などである。一方、減少した産業は、輸送用機械器具製造業などである。（表－2）
- ③ 圏域別にみると、中濃圏域では大きく増加しており、岐阜圏域、東濃圏域では減少している。岐阜圏域では、輸送用機械器具製造業、化学工業などで減少、西濃圏域では、電子部品・デバイス製造業などで増加、中濃圏域では、一般機械器具製造業、電気機械器具製造業などで増加、東濃圏域では、電気機械器具製造業などで増加、飛騨圏域では、輸送用機械器具製造業、非鉄金属製造業などで増加となった。（表－4）
- ④ 構成をみると、一般機械器具製造業が3671億円（構成比17.4%）と最も大きく、次いで、窯業・土石製品製造業が1999億円（同9.5%）、金属製品製造業が1832億円（同8.7%）となっている。

図－4 付加価値額の構成（従業者4人以上）



6 圏域別にみた産業別製造品出荷額等（従業者4人以上）

【岐阜圏域】

輸送用機械器具製造業が3263億円（構成比24.0%）と最も多く、次いで、一般機械器具製造業が1644億円（同12.1%）、化学工業が1453億円（同10.7%）などとなっている。

【西濃圏域】

電子部品・デバイス製造業が2256億円（同15.6%）と最も多く、次いで一般機械器具製造業が1851億円（同12.8%）、プラスチック製品製造業が1674億円（同11.5%）などとなっている。

【中濃圏域】

一般機械器具製造業が4774億円（同25.6%）、電気機械器具製造業が3050億円（同16.3%）、輸送用機械器具製造業が2683億円（同14.4%）となっており、この3産業で製造品出荷額等の半数以上を占めている。

【東濃圏域】

窯業・土石製品製造業が1833億円（同20.1%）、電気機械器具製造業が1251億円（同13.7%）、一般機械器具製造業が988億円（同10.8%）などとなっている。

【飛騨圏域】

化学工業が495億円（同17.2%）、非鉄金属製造業が398億円（同13.8%）、家具・装備品製造業が347億円（同12.0%）などとなっている。

図一 5 製造品出荷額等の圏域別産業中分類別構成（従業者4人以上）

